

令和6年9月分フォローアップにおける先進事例

自治体において、福祉担当課と連携した申請促進活動や、厚生労働省の希望調査を活用した出張申請受付等、積極的な申請促進活動を実施。

○福祉担当課と連携した申請促進活動 (北海道北見市)

概要

- ▶ 介護・障害担当課との連携により市内の介護・障害者福祉施設に対し、施設への出張申請の案内を送ることで、出張申請の件数が周知前に比べ6倍になった。
- ▶ 国民健康保険の担当課と連携し、国保のお便りに休日開庁のお知らせを同封することで、前月に比べ申請が3倍、交付が2倍に増加した。
- ▶ 以前にも介護・障害者福祉施設への出張申請の案内を行ったことがあったが、**健康保険証の新規発行が終了すること**が広まった**現在の方が**より効果があると考え、**再度案内を実施したところ、非常に多くの施設から申し込みが来るようになった。**



施設向けチラシ

○厚生労働省の希望調査を活用した 出張申請受付 (熊本県大津町)

概要

- ▶ 窓口に来庁することが困難な方にマイナンバーカードを取得していただくことを目的として、**社会福祉施設で出張申請受付を実施。**
- ▶ 厚生労働省が実施している社会福祉施設における出張申請受付の希望調査の結果を受け、希望があった施設で**実施。**
- ▶ **事前に施設側と打合せ**を行い、町と施設で申請者の情報（住所地やカード交付履歴の有無等）をとりまとめ、申請書を事前に準備した上で**町職員が訪問**。通知カードの確認や本人確認、写真撮影等を行い、申請を受け付けた。
- ▶ 完成したカードは、**町職員が再び施設を訪問して交付する。**



施設向け説明資料